

# 平成19年度9月補正予算の概要

高島市議会9月定例議会において、9月補正予算が可決されました。今回の補正予算では、高島総合病院整備のための基金積立やコミュニティ事業、地域介護・福祉空間整備など、本年度の事業を進めるにあたり新たに必要となった経費を追加しています。今回の補正予算の概要と主な内容についてお知らせします。

## 病院建設準備基金積立金

事業費 2億円

高島総合病院の整備に資するため、基金積立を行う。

財源：一般財源 2億円



## 住宅リフォーム促進事業

事業費 1,000万円

個人消費を促し、地域経済の活性化を図るため行っている住宅リフォーム促進事業の利用者増に伴い補助金を追加する。

財源：一般財源 1,000万円



## 道路維持管理事業

事業費 900万円

市が管理する道路の適正な維持管理を図るため、緊急性の高い整備必要個所に対応できるよう補修費を追加する。

財源：一般財源 900万円



## コミュニティ推進事業

事業費 685万円

高齢者や障がい者にやさしい構造に改修するための自治会集会施設の改修事業に補助を行う。

機能向上分  
対象地区2地区 360万円  
改修分  
対象地区2地区 325万円  
財源：県支出金 180万円  
一般財源 505万円



## 地域介護・福祉空間整備

事業費 5,000万円

高島生活圏において整備する地域密着型小規模特別養護老人ホームおよび地域密着型認知症対応型通所介護施設に対して補助を行う。

地域密着型小規模特別老人ホーム  
1施設3ユニット 21床 4,000万円  
地域密着型認知症対応型通所介護施設 1,000万円  
財源：国庫支出金 5,000万円



## ○歳入歳出補正予算

(単位：千円)

区分	補正前の額	補正額	補正後の額
一般会計	242億7,020万円	4億986万円	246億8,006万円
特別会計	192億5,429万円	1億3,322万円	193億8,751万円
事業会計	53億9,342万円		53億9,342万円
予算総額	489億1,791万円	5億4,308万円	494億6,099万円

## ○一般会計歳入予算の主な内訳

国庫支出金	5,973万円
県支出金	1,118万円
繰入金	△5億4,400万円
繰越金	8億7,434万円
市債	1,540万円

## 安曇川総合体育館管理事業

事業費 530万円

施設の適正な維持管理を図るため、修繕工事等を追加する。

主なもの  
便所・フローカーペット等改修、建具・照明器具等修繕ほか  
財源：一般財源 530万円



## 国民健康保険特別会計

(事業勘定)

事業費 7,040万円

給付費国庫負担金の確定に伴う過年度返還金 7,040万円  
財源：一般財源 7,040万円



## 介護保険特別会計

事業費 5,391万円

給付費国庫負担金等の確定に伴う過年度返還金 5,391万円  
財源：一般財源 5,391万円

## 病院事業会計

事業費 - 万円

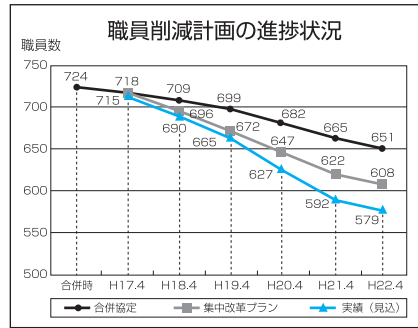
一般会計繰出基準による繰入金(負担金)の変更に伴う財源内訳の更生  
収益的収入  
医業外収益 4,798万円  
医業収益 △4,798万円  
資本的収入  
出資金 △409万円  
当年度損益勘定留保資金 409万円

# 高島市職員の定員・給与に関する状況をお知らせします

高島市の職員は、高島市総合計画に掲げた市の将来像「水と緑 人のいきかう 高島市」の実現に向けて、市民の皆さんの立場にたった心のこもったサービスの提供、そして市民協働によるまちづくりの実践や、厳しい環境変化への的確な対応など、行政のプロとして市民の皆さんの期待にお応えしなければなりません。市民の皆さんに求められる組織、職員を目指し、現在、次のことに取り組んでいます。

### ◆職員数の削減

合併協定では、合併後10年間で約1600人の職員を純減(純減率19.7%)する目標をたてましたが、厳しい財



※職員数には消防、高島病院、陽光の里の職員を除いています。  
※集中改革プランとは平成21年度までに具体的な取り組みを集中的に実施する行財政改革の計画です。

### ◆勤務評定の実施

職員は全体の奉仕者として果たさなければならぬ責務があり、市民の皆さんに求められる職員でなければなりません。市では全職員に対し、職務に対する能力評価、意欲・態度評価を実施し、自己評価により自分を見つめ直し、部下からの評価を受けることにより、客観的に自分を見つめ直し、更なる資質の向上を目指しています。勤務評定の結果は賞与(ポ

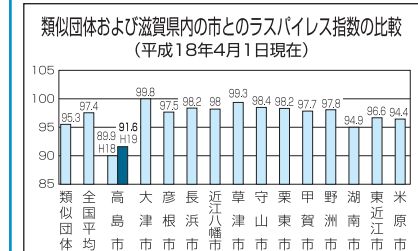
### ◆勤務評定の結果は賞与(ポ

### ◆研修制度の充実

地方分権が進み、国や県にあった権限が市町村へ委譲されることで、職員は今まで以上に、住民ニーズに応えるためのサービスを提供しなければなりません。そのためには日常の業務に励むことはもちろんのこと、新しい情報を得るための自己啓発もかかせません。従来の階層別の研修に加え、専門研修(法務、土木、福祉その他多数)、長期

## 給与の状況(ラスパイルス指数の状況)

平成19年4月1日現在で見ると、高島市一般行政職の給与額の水準は国を100とした場合、91.6となっています。



※高島市の平成19年のラスパイルス指数は試算値です。  
※類似団体とは人口規模、産業構造が比較的類似している全国の団体で全国で約40団体ほどあります。